

感染症ワクチンの至適化に資する 基盤技術構築

演者: 吉岡 靖雄

大阪大学微生物病研究所 特任教授

日時: 2024年7月29日(月) 15:00~16:30

場所: 22号館 1階 第2会議室

講演概要

本邦における重点感染症の策定やCOVID19などを鑑みても、感染症は未だ圧倒的脅威であり、ワクチンの研究力強化が国家的急務となっている。しかし、未だワクチンが存在しない感染症や、ワクチン効果の増大や副反応の回避が必須となる事例も多い。そのため、ワクチン学の更なる進展や、新たなワクチンモダリティー開発が必要不可欠となっている。本観点で我々は、薬物送達学・安全科学を基盤として、不活化ワクチン、サブユニットワクチン、ウイルスベクターワクチン、mRNAワクチンなどの至適化研究を推進している。本講演では、1) 樹状細胞標的化ペプチドによるワクチン開発、2) 低起炎性mRNA-LNPワクチンの開発、3) 生体内抗体を抗原送達キャリアとして活用した新たな経鼻ワクチンシステムの開発などを紹介し、多方面からのご意見を頂戴したい。

お問い合わせ: 有機生体材料学分野 松元 亮 (内線: 8020)

E-mail: matsumoto.bsr@tmd.ac.jp